



豊島健康診査センター

11月 2日発行

平素より医療法人財団豊島健康診査センターをご利用いただきまして誠にありがとうございます。

平成27年11月から平成28年1月までの、内視鏡および超音波検査日程をお知らせいたします。

内視鏡検査(火曜日・金曜日)

日程	方法	担当医師	日程	方法	担当医師	日程	方法	担当医師
11月 6日	経口	飯塚	12月 1日	経鼻	宮本	1月 12日	経鼻	宮本
11月 10日	経鼻	宮本	12月 8日	経鼻	宮本	1月 15日	経口	飯塚
11月 17日	経鼻	宮本	12月 11日	経口	飯塚	1月 19日	経鼻	宮本
11月 24日	経鼻	宮本	12月 15日	経鼻	宮本	1月 29日	経口	飯塚
11月 27日	経口	飯塚						

※ご希望により火曜日も経口を実施いたします。

心臓超音波検査(金曜日)

日程	担当医師	日程	担当医師	日程	担当医師
11月 6日	新井	12月 11日	新井	1月 15日	新井
11月 13日	新井	12月 25日	新井	1月 29日	新井
11月 27日	新井				

超音波検査(火曜日・金曜日)

腹部・甲状腺・乳腺

※腹部超音波検査は、午前中のみとなります。



予約受付電話番号

月曜日～金曜日

土曜日

03-5974-7206

8:00 ~ 19:30

8:00 ~ 16:30

お問い合わせ電話番号(医療機関専用)

月曜日～金曜日

土曜日

03-5974-7203

8:30 ~ 19:30

8:30 ~ 16:30

MRI・CT検査は、月曜・金曜の18時まで検査時間を延長しています

新しい検査のご紹介

- ヒトL型脂肪酸結合蛋白(L-FABP) -

保険点数**210点**

検体:**部分尿**



ヒトL型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)は、「尿細管機能障害を伴う腎疾患」において、組織障害が進行する前の尿細管虚血や酸化ストレスにより尿中に排泄されるため、次の対象疾患の早期診断に有用な検査です。

対象疾患

糖尿病・糸球体腎炎・慢性腎臓病・急性腎障害(AKI)

※糖尿病性腎症の早期診断に…

糖尿病性腎症患者の尿中L-FABP値は病期の進行とともに増加し、健常者に比べて腎症早期より有意に高い値を示します。

※腎機能低下リスクの判別に…

尿細管機能を反映する尿中L-FABPは、糸球体障害の指標である尿中アルブミンと同時に測定することによって、高精度にリスク群を判別できます。

※急性腎障害(AKI)発症を予測するマーカーとして…

血清クレアチニンを指標とした従来のAKI診断法では、術後24時間以降の判別でしたが、尿中L-FABPは術直後から著明な上昇を示し、より早期の急性腎障害(AKI)発症の予測が可能です。

※腎疾患の治療効果の判定に…

尿中L-FABPは尿中アルブミンと同様に、早期糖尿病性腎症に対する降圧療法などの治療効果のモニタリングとしても有用です。

測定項目	ヒトL型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)尿
検体	部分尿 5ml (早朝尿・随時尿・蓄尿－酸性蓄尿は除く)
検査日数	5－7日
検査方法	ELISA法
基準値・単位	8.4以下(クレアチニン補正值) $\mu\text{g/gCre}$
実施料	210点 ※次回以降も同じ点数で算定可能
判断料	D026 検体検査判断料 34点(尿・糞便等)
算定上の留意事項	原則として3ヵ月に1回限り算定。(ただし、医学的な必要からそれ以上算定する場合には、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記入してください。)
レセプト必須記載事項	「尿細管機能障害の疑い」もしくは「尿細管機能障害を伴う腎疾患診断の補助」と記載。
検体保存方法	冷蔵保存 凍結保存
同時算定例	尿中微量アルブミンとの同時算定が可能。